

# 北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

## 1 施設・事業所の概要

- |               |                |
|---------------|----------------|
| (1) 事業者名（法人名） | 社会福祉法人 さかえ会    |
| (2) 事業所名      | さかえ保育園         |
| (3) 所在地       | 八幡西区中須二丁目3番17号 |
| (4) 電話番号      | 093-691-0466   |

## 2 評価実施日

平成24年2月1日

## 3 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

## 4 評価結果

### 総合評価

保育園は、園の前を金山川が流れ、公園に接した静かな環境にあります。園舎と園庭の間に楠の大木があり、四季を通して、子どもたちの遊び場になっています。当園は、異年齢の交流を行い、また保育に素話を取り入れ、子どもたちに想像する楽しさを知らせています。

#### I 子どもの発達援助

保育課程は、園の保育理念や基本方針に基づき編成されており、食育の計画も盛り込まれています。指導計画は、保育課程のねらいや内容に対応すること、4.5歳児の縦割り保育については、具体的な指導計画を作成することが望まれます。保育の記録に関する帳票は「北九州市保育帳票検討会」作成の帳票を使用し、継続的に記載・管理されています。気になる子どもについては、毎日またはミーティングの中で情報交換していますが、今後、ケース会議等は定期的開催されることが望まれます。健康管理について年間計画を作成すること、健康対策やマニュアルの見直し、実際の対応法などの職員研修をすることが望まれます。健康診断については、健康診断質問票に嘱託医が診断結果を記載し、園が保護者にその結果を伝えています。「食」の大切さを試食会、食育だよりなどで知らせています。菜園活動やクッキング活動なども行われています。アレルギー疾患をもつ子どもの除去食については、医師の診断書を基に保護者や園長（主任）、担当保育士、調理員による四者会議を行い、個人記録簿も整備・保管されています。各保育室に手作り玩具や、年齢に応じた玩具を用意し、好きな遊びができるコーナーも設けていますが、今後、子どもが自由に玩具や遊具を取り出して遊べるように工夫すること、個人用絵本の購入については、保護者の意見を取り入れることが望まれます。また、子どもが自発的に活動し、さまざまな経験を積むことができるように、保育士は側面から援助する姿勢が望まれます。エコマザーによる講演を聞き牛乳パックの回収も行い、エコ活動にも取り組んでいます。午睡前に絵本の読み聞かせを行い、素話を取り入れ、想像力を育てイメージが豊かになるよう取り組んでいます。子どもの人権については、園長が子どもの人権を含め人権尊重についての保護者へ啓発を行っていますが、今後は、保育士として子どもが言葉や表情で表した思いをしっかり受け止めていく姿勢が望まれます。また子どもの人権に関する研修が年間計画に位置づけられることが望まれます。保育の中で、性別による固定的な観念や役割分業の意識を保育士が持たないように取り組んでいます。乳児保育については、連絡ノートや口頭で家庭との連携を密にして一人一人の健康状態を把握し、子どもの成長を見守っています。延長保育は、くつろげるようにホットカーペットが用意され、子どもたちが好きな遊びを選んでゆったりと過ごしています。

#### II 子育て支援

送迎時の日常的な会話や連絡帳・個人懇談を実施して保護者との相互理解に努めています。児童虐待については、保育の中で視診や子どもの状態を確認し、児童虐待の早期発見や防止に取り組んでいます。未就園児親子を対象とした公開保育は、年5回実施して地域の子育て支援をしています。

#### III 地域の住民や関係機関等との連携

市民センター等地域の関係機関・団体などの必要な情報は、保護者が見やすい出入り口にファイリングして整理されています。また近隣住民へ積極的な挨拶を心がけ、行事への参加を促し、高齢者施設を訪問するなど地域との連携を図っています。折尾東小学校の小学生と交流し、他の保育園や幼稚園と行事を通して園児同士が交流を図っていますが、今後、保育園と、小学校や他の保育所（幼稚園）との保育参加や職員研修など、職員間の連携の機会をもつことが望まれます。

#### IV 運営管理

事故や災害対策は、マニュアルが作成され職員に周知されています。研修については職員に適切な研修機会を確保していますが、今後、職員の研修希望を基に、年間計画を立て研修成果を定期的に評価して、次の研修計画に反映されることが望まれます。職員参加のもとで、職員からの提案や意見の検討、自己評価に基づいた改善計画の立案、またアンケートなどにより保護者の意向を把握・検討を行うことが望まれます。

# 評価対象ごとの評価（概要）

## I 子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
<b>発達援助の基本</b>	<p><b>計画・記録</b>            保育課程は、園の保育理念や基本方針に基づき編成されており、食育の計画も盛り込まれています。指導計画は、保育課程のねらいや内容に対応すること、4. 5歳児の縦割り保育については、具体的な指導計画を作成することが望まれます。3歳未満児については、個別の指導計画が立てられています。            保育の記録に関する帳票は「北九州市保育帳票検討会」作成の帳票を使用し、継続的に記載・管理されています。</p> <p><b>会議</b>            気になる子どもについては、毎日またはミーティングの中で情報交換していますが、今後、ケース会議等は定期的に行われることが望まれます。</p>
<b>健康管理・食事</b>	<p><b>健康管理</b>            子どもの発病やけがなどの異常に対して「マニュアル」に沿って適切に対応していますが、今後、健康管理について年間計画を作成すること、健康対策やマニュアルの見直し、実際の対応法などの職員研修を行うことが望まれます。健康診断については、健康診断質問票に嘱託医が診断結果を記載し、園が保護者にその結果を伝えています。</p> <p><b>感染症</b>            感染症への対応について、マニュアルが整備されています。</p> <p><b>食事</b>            菜園活動やクッキング活動なども行われています。「食」の大切さを試食会、食育だよりなどで知らせています。アレルギー疾患をもつ子どもの除去食については、医師の診断書を基に四者会議を行い、個人記録簿も整備・保管されています。</p>
<b>保育環境・保育内容</b>	<p><b>保育環境</b>            各保育室とも採光・換気に配慮されています。</p> <p><b>保育内容</b>            各保育室に手作り玩具や、年齢に応じた玩具を用意し、好きな遊びができるコーナーも用意されていますが、今後、子どもが自由に玩具や遊具を取り出して遊べるように工夫すること、個人用絵本の購入については、保護者の意見を取り入れることが望まれます。また、子どもが自発的に活動し、さまざまな経験を積むことができるように、保育士は側面から援助する姿勢が望まれます。毎日の道路の清掃活動を通して、身近な生活問題に関心を持たせ、エコマザーによる講演を聞き牛乳パックの回収も行い、エコ活動にも取り組んでいます。保育室には季節に合った作品を飾り、季節の歌を取り入れ、子ども達が自分なりに表現して楽しむようにしています。午睡前に絵本を読み聞かせ、素話を取り入れ、想像力を育てイメージが豊かになるよう取り組んでいます。乳児保育は、連絡ノートや口頭で家庭との連携を密にして一人一人の健康状態を把握し、子どもの成長を見守っています。</p> <p><b>人権・性差</b>            子どもの人権については、園長が子どもの人権を含め人権尊重についての保護者へ啓発を行っていますが、今後は、保育士として子どもが言葉や表情で表した思いをしっかり受け止めていく姿勢が望まれます。また子どもの人権に関する研修が年間計画に位置づけられることが望まれます。保育の中で、性別による固定的な観念や役割分業の意識を保育士が持たないように取り組んでいます。</p> <p><b>延長保育・障害児保育</b>            延長保育は、くつろげるようにホットカーペットが用意され、子どもたちが好きな遊びを選んでゆったりと過ごしています。障害児保育に関する研修会に参加し、職員会議などで報告され、全職員に研修内容を周知しています。</p>

## II 子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
者の 育 支 援 入 所 童 の 保 護	<p><b>保護者との関係・虐待</b></p> <p>送迎時の日常的な会話や連絡帳による情報交換、また年2回個人懇談を実施するなど保護者との相互理解を深めています。1日保育士体験を計画し、保護者が職員と気軽に相談できるような配慮がなされています。児童虐待については、視診や着替えの時に子ども一人一人について児童虐待の兆候がないかを確認し、児童虐待の早期発見や防止に取り組んでいます。</p>
支 援 地 域 の 子 育 て	<p><b>地域支援・一時保育</b></p> <p>未就園児親子を対象とした公開保育は、ポスターの掲示やお知らせの配布を行い、年5回実施して地域の子育て支援をしています。</p>

## III 地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

関 連 機 関 等 と の 連 携 地 域 の 住 民 や 関 係 機 関	<p><b>地域での役割・その他機関との連携</b></p> <p>市民センター等地域の関係機関・団体などの必要な情報は、保護者が見やすい出入り口にファイリングして整理されています。また必要な文書は掲示したり、自由にチラシが取れるようにしたりして、保護者に情報提供を行っています。折尾東小学校の小学生との交流会を定期的に行っていますが、今後、保育園と、小学校や他の保育所（幼稚園）との保育参加や職員研修など、職員間の連携の機会をもつことが望まれます。近隣住民に対し、積極的な挨拶を心がけ、行事においては案内状の配布やポスター掲示などを行い、参加を呼び掛けています。高齢者施設を訪問し、地域に対するボランティア活動も行っています。</p>
実 習 等 の 受 入 ン テ ィ ア	<p><b>実習等の受入</b></p> <p>実習生・ボランティア等の受け入れについては園の方針が定められており、保護者へは掲示等で周知されています。</p>

## IV 運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

組 織 運 営 基 本 方 針	<p><b>理念・方針</b></p> <p>保育理念や基本方針は明文化され、掲示されています。</p> <p><b>保育の質の向上・研修</b></p> <p>園長は、職員から意見を求めています。職員参加のもとで、提案や意見などの反映状況、成果を検討することと、自己評価を行い、改善策や改善計画を立て実施し、その結果を職員に周知することが望まれます。またアンケートなどにより保護者の意向を把握し、結果の分析や検討を行うことが望まれます。</p> <p>職員に適切な研修機会を確保していますが、今後は、職員の研修希望を基に、年間計画を立て、研修成果を定期的に評価して、次の研修計画に反映されることが望まれます。</p>
安 全 ・ 衛 生 管 理 情 報 提 供 守 秘 義 務 の 遵 守	<p><b>守秘義務・情報・安全</b></p> <p>就業規則の中に守秘義務の遵守に関する規定が明記されており、研修も行われています。</p> <p>園だよりの構成に配慮するなど保護者に分かりやすく伝えるための工夫を行っています。</p> <p>事故や災害に対応できるマニュアルが作成され職員に周知されています。施設安全点検表を基に、教室や園庭、プール等の安全チェックをしています。</p>